

II 建築学科

1 教育研究上の目的

建築学に関する幅広い知識と、専門性の高い技術、さらに創造力豊かな芸術性を修得して、広く地域社会に通用する協調性のある人間性を身に付けるとともに、建築が果たすべき社会的使命としての倫理観や責任感を持った、実践力や指導力のある建築技術者、建築士、デザイナー、研究者、公務員、教員などの人材を養成する。

2 教育目標

建築学科の教育目標は、建築実務に必要な「建築士」としての資質を養うことです。そのために、導入科目として建築設計製図、建築計画、建築史、建築構法、環境設備及び情報処理演習を、基礎的な科目として応用力学、構造力学、建築施工、建築材料学、建築設備、住宅計画、都市計画等、このほか演習科目として建築実験及び建築設計を設置しています。

さらに、建築学は学際的で様々な学問領域を包含していることから、建築学科では「建築エンジニアリング」、「建築デザイン」及び「アーキテクト」の3コースを設置し、2年次生以降においては、各コース特有の科目構成としています。

3 コースの特徴

(1) 建築エンジニアリングコース

建築学の中で、構造・材料・施工系の科目を中心に修得するコースです。応用力学・構造力学・建築材料学・建築施工等を修得し、木質構造・鉄筋コンクリート構造・鋼構造等の構造種別による設計法を学び、これらのまとめとして建築設計を履修します。

(2) 建築デザインコース

建築学の中で、計画・環境・設備・意匠系に加え、構造・材料・施工系の科目を包括的に履修するコースです。住宅計画・建築計画・都市計画・建築環境工学・建築設備・インテリアデザイン等を学びながら、建築設計演習を継続して修得し、これらのまとめとして建築設計を履修します。

(3) アーキテクトコース

国際建築家連合（UIA）認定の教育プログラムを視野に入れて、建築家としての素養を修得するコースです。住宅計画・建築計画・都市計画・建築環境工学・建築設備等に加え、建築意匠設計・建築企画等を学びながら、建築設計演習を継続して修得し、これらのまとめとして建築設計を履修します。

4 履修にあたって

導入科目の履修を通じて、建築学の学問体系を把握するとともに、各コースの特徴を充分理解し、建築学科卒業後の進路も考慮した上で、コースを選択することが重要です。また、建築学は様々な学問領域を有していることから、できるだけ多くの科目を履修することが大切です。

建築学科 建築エンジニアリングコース

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**130単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】** 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】** 必修科目（10科目10単位）を含めて、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】** 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】** 必修科目（5科目11単位）を含めて、**15単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】**
- (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
 - (2) 必修科目（30科目）**62単位**を修得しなければならない。ただし、
 - ・必修科目①の23科目**47単位**を修得しなければならない。
 - ・必修科目②(コース必修科目)の7科目**15単位**を修得しなければならない。
 - (3) 選択必修科目（コース選択必修科目）のうちから6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
 - (4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**84単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】** 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**7単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養科目	必修	自主創造の基礎 1 (2)			
		自主創造の基礎 2 (2)			
	選択	日本語表現法 (2)	日本国憲法 (2)	哲学 I (2)	
		心理学 I (2)	経済学 I (2)	哲学 II (2)	
		心理学 II (2)	経済学 II (2)		
		日本の文化 (2)			
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーション I (1)	実用英語 III (1)	
		英語読解 I (1)	英語コミュニケーション II (1)		
		英語読解 II (1)	実用英語 I (1)		
		英語表現法 I (1)	実用英語 II (1)		
		英語表現法 II (1)			
	選択	基礎日本語 I (1)	日本語講読 I (1)		技術英語 (1)
	基礎日本語 II (1)	日本語講読 II (1)			
体育科目	必修	体育・スポーツ I (1)			
	体育・スポーツ II (1)				
	選択			健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学 I 及び演習 (3)			
		物理学 I (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
		化学 I (2)			
		化学実験及び演習 (2)			
	選択	工科系数学 II (2)	工科系数学 IV (2)		
		工科系数学 III (2)	物理学 III (2)		
		物理学 II (2)			
		物理学 IV (2)			
		化学 II (2)			
専門教育科目	専門共通科目			技術者倫理 (2)	卒業研究 (6)
				ゼミナール (2)	
	必修 ①	建築環境・設備概論 (2)	建築設計演習 I (2)	建築施工 I (2)	建築設計 (2)
		建築設計製図 I (2)	建築設計演習 II (2)	建築設備 I (2)	建築実験 (1)
		建築設計製図 II (2)	建築材料実験 (1)	建築関連法規 (2)	
		建築構法 I (2)	応用力学 I 及び演習 (3)		
		建築計画 I (2)	応用力学 II 及び演習 (3)		
		西洋建築史 (2)	構造力学 I 及び演習 (3)		
		建築情報処理演習 I (1)	構造力学 II 及び演習 (3)		
			建築構法 II (2)		
		建築材料科学 I (2)			
		住宅計画 (2)			
		建築環境工学 I (2)			
	必修 ②		建築材料科学 II (2)	木質構造設計法 (2)	
			建築計画 II (2)	構造力学 III 及び演習 (3)	
				建築基礎構造 (2)	
				鉄筋コンクリート構造 (2)	
			鋼構造 (2)		
	選択 必修		建築造形演習 (2)	建築振動学 (2)	建築材料科学 (2)
			建築情報処理演習 II (2)	鉄筋コンクリート構造設計法 (2)	構造力学 IV (2)
			鋼構造設計法 (2)		
			建築施工 II (2)		
			建築計画 III (2)		
			都市計画 I (2)		
			日本建築史 (2)		
		建築環境工学 II (2)			
		建築設備 II (2)			
選択	インテリアデザイン (2)	建築情報処理演習 III (2)	建築設計演習 III (2)	統計学 (2)	
			建築設計演習 IV (2)	建築企画 (2)	
			建築計画 IV (2)	インターンシップ (2)	
			都市計画 II (2)		
			近代建築史 (2)		
			建築人間工学 (2)		
		建築測量演習 (2)			
		オープンデスク (2)			

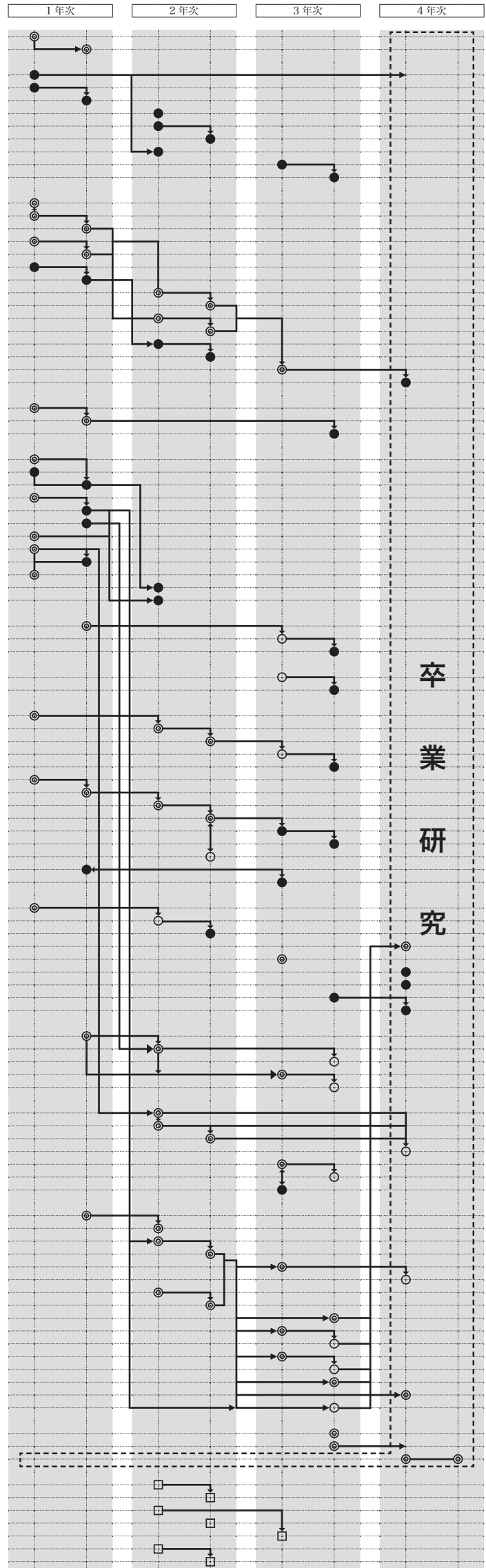
教育研究上の目的

建築学に関する幅広い知識と、専門性の高い技術、さらに創造力豊かな芸術性を修得して、広く地域社会に通用する協調性のある人間性を身に付けるとともに、建築が果たすべき社会的使命としての倫理観や責任感を持った、実践力や指導力のある建築技術者、建築士、デザイナー、研究者、公務員、教員などの人材を養成する。

群(系)	科目名	学修・教育目標								
		A	B	C	D	E	F	G	H	I
初年次	自主創造の基礎 1									
	自主創造の基礎 2									
教養科目	日本語表現法	○								
	心理学 I	○								
	心理学 II	○								
	日本国憲法	○								
	経済学 I	○								
	経済学 II	○								
	日本の文化	○								
	哲学 I	○								
外国語科目	基礎英語	○								
	英語読解 I	○								
	英語読解 II	○								
	英語表現法 I	○								
	英語表現法 II	○								
	基礎日本語 I	○								
	基礎日本語 II	○								
	英語コミュニケーション I	○								
	英語コミュニケーション II	○								
	実用英語 I	○								
	実用英語 II	○								
	日本語講読 I	○								
体育科目	体育・スポーツ I	○								
	体育・スポーツ II	○								
	健康・スポーツ概論	○								
自然科学科目	工科系数学 I 及び演習	○								
	工科系数学 II		○							
	工科系数学 III		○							
	物理学 I		○							
	物理学 II		○							
	物理学 IV		○							
	物理学実験及び演習		○							
	化学 I		○							
	化学 II		○							
	化学実験及び演習		○							
	工科系数学 IV		○							
建築歴史・意匠	西洋建築史				○					○
	日本建築史				○					○
	近代建築史	○			○					○
都市計画・都市設計	都市計画 I				○					○
	都市計画 II				○					○
建築計画・設計	建築計画 I				○					○
	住宅計画				○					○
	建築計画 II				○					○
	建築計画 III				○					○
	建築計画 IV				○					○
	建築設計製図 I				○					○
	建築設計製図 II				○					○
	建築設計演習 I				○					○
	建築設計演習 II				○					○
	建築設計演習 III				○					○
	建築設計演習 IV				○					○
	建築造形演習	○			○					○
	インテリアデザイン	○			○					○
	建築人間工学	○			○					○
応用及び学際領域	建築情報処理演習 I	○		○						
	建築情報処理演習 II	○		○						
	建築情報処理演習 III	○		○						
	建築実験	○	○							○
	建築関連法規	○			○					○
	建築企画	○			○					○
	統計学	○			○					○
	オープンデスク	○			○					○
インターンシップ	○			○					○	
建築環境・設備	建築環境・設備概論				○					○
	建築環境工学 I				○					○
	建築環境工学 II				○					○
	建築設備 I				○					○
建築材料・施工	建築設備 II				○					○
	建築材料実験		○	○						○
	建築材料学 I		○	○						○
	建築材料学 II		○	○						○
建築構造	建築材料科学		○	○						○
	建築施工 I		○	○						○
	建築施工 II		○	○						○
	建築測量演習		○	○						○
	建築構法 I				○					○
	建築構法 II				○					○
	構造力学 I 及び演習				○					○
	構造力学 II 及び演習				○					○
	構造力学 III 及び演習				○					○
	構造力学 IV			○						○
	応用力学 I 及び演習				○					○
	応用力学 II 及び演習				○					○
	木質構造設計法		○		○					○
	鉄筋コンクリート構造		○		○					○
鉄筋コンクリート構造設計法		○		○					○	
鋼構造		○		○					○	
鋼構造設計法		○		○					○	
建築基礎構造		○		○					○	
建築設計		○		○					○	
建築振動学		○		○					○	
専門共通	技術者倫理	○	○							
	ゼミナール				○					○
	卒業研究	○	○		○					○
(教員に關する科目)	木材加工 I									○
	木材加工 II									○
	金属加工									○
	機械工学				○					
	機械加工概論				○					
	電気工学				○					
電子回路概論				○						

◎：強く関連 ○：関連

- A：幅広い教養
- B：高い倫理観と安全性に関する知識
- C：自然科学と情報処理の基礎と応用力
- D：専門的な基礎
- E：総合的な課題解決能力
- F：コミュニケーション力
- G：自主的・継続的に学修する能力
- H：専門的な基礎技術
- I：資格取得のための基礎的な技術能力



※教職課程科目については、許可を受けた者だけが履修できる。

- ◎ 必修科目
- 選択必修科目
- 選択科目

建築学科 建築デザインコース

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**130単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】** 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】** 必修科目（10科目10単位）を含めて、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】** 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】** 必修科目（5科目11単位）を含めて、**15単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】**
- (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
 - (2) 必修科目（30科目）**61単位**を修得しなければならない。ただし、
 - ・必修科目①の23科目**47単位**を修得しなければならない。
 - ・必修科目②(コース必修科目)の7科目**14単位**を修得しなければならない。
 - (3) 選択必修科目（コース選択必修科目）のうちから6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
 - (4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**83単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】** 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**8単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養科目	必修	自主創造の基礎 1 (2)			
		自主創造の基礎 2 (2)			
	選択	日本語表現法 (2)	日本国憲法 (2)	哲学 I (2)	
		心理学 I (2)	経済学 I (2)	哲学 II (2)	
	心理学 II (2)	経済学 II (2)			
		日本の文化 (2)			
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーション I (1)	実用英語 III (1)	
		英語読解 I (1)	英語コミュニケーション II (1)		
		英語読解 II (1)	実用英語 I (1)		
		英語表現法 I (1)	実用英語 II (1)		
		英語表現法 II (1)			
	選択	基礎日本語 I (1)	日本語講読 I (1)		技術英語 (1)
基礎日本語 II (1)		日本語講読 II (1)			
体育科目	必修	体育・スポーツ I (1)			
		体育・スポーツ II (1)			
	選択			健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学 I 及び演習 (3)			
		物理学 I (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
		化学 I (2)			
		化学実験及び演習 (2)			
	選択	工科系数学 II (2)	工科系数学 IV (2)		
		工科系数学 III (2)	物理学 III (2)		
		物理学 II (2)			
物理学 IV (2)					
	化学 II (2)				
専門教育科目	専門共通科目			技術者倫理 (2)	卒業研究 (6)
				ゼミナール (2)	
	必修	建築環境・設備概論 (2)	建築設計演習 I (2)	建築施工 I (2)	建築設計 (2)
		建築設計製図 I (2)	建築設計演習 II (2)	建築設備 I (2)	
		建築設計製図 II (2)	建築材料実験 (1)	建築関連法規 (2)	
		建築構法 I (2)	応用力学 I 及び演習 (3)	建築実験 (1)	
		建築計画 I (2)	応用力学 II 及び演習 (3)		
		西洋建築史 (2)	構造力学 I 及び演習 (3)		
		建築情報処理演習 I (1)	構造力学 II 及び演習 (3)		
			建築構法 II (2)		
		建築材料科学 I (2)			
		住宅計画 (2)			
		建築環境工学 I (2)			
	必修②	インテリアデザイン (2)	建築計画 II (2)	建築設計演習 III (2)	
				建築設計演習 IV (2)	
				建築計画 III (2)	
				都市計画 I (2)	
				日本建築史 (2)	
	選択必修		建築材料科学 II (2)	鉄筋コンクリート構造 (2)	
			建築情報処理演習 II (2)	鋼構造 (2)	
		建築造形演習 (2)	木質構造設計法 (2)		
		建築情報処理演習 III (2)	建築基礎構造 (2)		
			建築環境工学 II (2)		
			建築設備 II (2)		
			建築人間工学 (2)		
		近代建築史 (2)			
選択			構造力学 III 及び演習 (3)	建築材料科学 (2)	
			建築施工 II (2)	統計学 (2)	
			建築振動学 (2)	インターンシップ (2)	
			建築測量演習 (2)	建築企画 (2)	
			オープンデスク (2)	構造力学 IV (2)	
			鋼構造設計法 (2)		
		鉄筋コンクリート構造設計法 (2)			

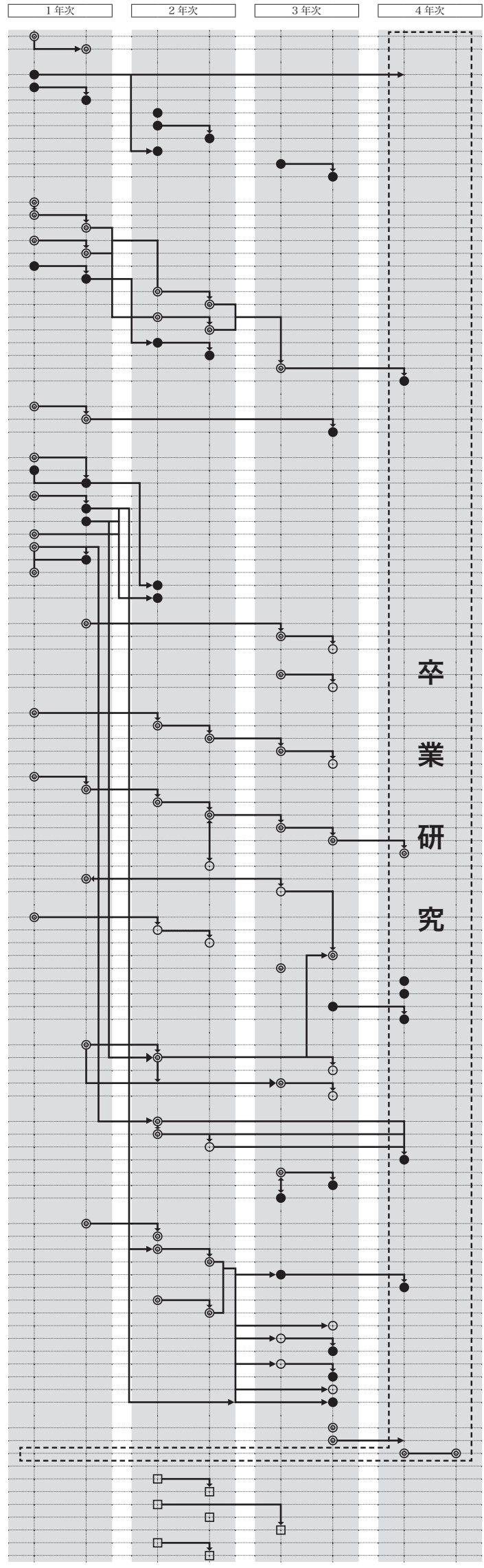
教育研究上の目的

建築学に関する幅広い知識と、専門性の高い技術、さらに創造力豊かな芸術性を修得して、広く地域社会に通用する協調性のある人間性を身に付けるとともに、建築が果たすべき社会的使命としての倫理観や責任感を持った、実践力や指導力のある建築技術者、建築士、デザイナー、研究者、公務員、教員などの人材を養成する。

群(系)	科目名	学修・教育目標								
		A	B	C	D	E	F	G	H	I
初年次	自主創造の基礎 1									
	自主創造の基礎 2									
教養科目	日本語表現法	○								
	心理学 I	○								
	心理学 II	○								
	日本国憲法	○								
	経済学 I	○								
	経済学 II	○								
	日本の文化	○								
	哲学 I	○								
外国語科目	基礎英語	○								
	英語読解 I	○								
	英語読解 II	○								
	英語表現法 I	○								
	英語表現法 II	○								
	基礎日本語 I	○								
	基礎日本語 II	○								
	英語コミュニケーション I	○								
	英語コミュニケーション II	○								
	実用英語 I	○								
	実用英語 II	○								
	日本語講読 I	○								
	日本語講読 II	○								
	実用英語 III	○								
体育科目	体育・スポーツ I	○								
	体育・スポーツ II	○								
	健康・スポーツ概論	○								
自然科学科目	工系数学 I 及び演習	○								
	工系数学 II		○							
	工系数学 III		○							
	物理学 I		○							
	物理学 II		○							
	物理学 IV		○							
	物理学実験及び演習		○							
	化学 I		○							
	化学 II		○							
	化学実験及び演習		○							
	工系数学 IV		○							
	物理学 III		○							
建築歴史・意匠	西洋建築史				○			○		○
	日本建築史				○			○		○
	近代建築史	○			○			○		○
都市計画・都市設計	都市計画 I				○			○		○
	都市計画 II				○			○		○
建築計画・設計	建築計画 I				○			○		○
	住宅計画				○			○		○
	建築計画 II				○			○		○
	建築計画 III				○			○		○
	建築計画 IV				○			○		○
	建築設計製図 I				○			○		○
	建築設計製図 II				○			○		○
	建築設計演習 I				○			○		○
	建築設計演習 II				○			○		○
	建築設計演習 III				○			○		○
	建築設計演習 IV				○			○		○
	建築設計				○			○		○
	建築造形演習	○			○			○		○
	インテリアデザイン	○			○			○		○
建築人間工学	○			○			○		○	
応用及び学際領域	建築情報処理演習 I	○		○				○		
	建築情報処理演習 II	○		○				○		
	建築情報処理演習 III	○		○				○		
	建築実験	○		○				○		
	建築関連法規	○		○				○		
	建築企画	○		○				○		
	統計学	○		○				○		
オープンデスク										
インターンシップ										
建築環境・設備	建築環境・設備概論				○			○		○
	建築環境工学 I				○			○		○
	建築環境工学 II				○			○		○
	建築設備 I				○			○		○
建築設備 II				○			○		○	
建築材料・施工	建築材料実験		○	○				○		○
	建築材料学 I		○	○				○		○
	建築材料学 II		○	○				○		○
	建築材料科学		○	○				○		○
	建築施工 I		○	○				○		○
	建築施工 II		○	○				○		○
建築測量演習		○	○				○		○	
建築構造	建築構法 I				○			○		○
	建築構法 II				○			○		○
	構造力学 I 及び演習				○			○		○
	構造力学 II 及び演習				○			○		○
	構造力学 III 及び演習				○			○		○
	構造力学 IV				○			○		○
	応用力学 I 及び演習				○			○		○
	応用力学 II 及び演習				○			○		○
	木質構造設計法	○			○			○		○
	鉄筋コンクリート構造	○			○			○		○
鉄筋コンクリート構造設計法	○			○			○		○	
鋼構造	○			○			○		○	
鋼構造設計法	○			○			○		○	
建築基礎構造	○			○			○		○	
建築振動学	○			○			○		○	
専門共通	技術者倫理	○	○					○		
	ゼミナール									
	卒業研究	○	○	○		○		○		○
(教科に關する科目)	木材加工 I								○	
	木材加工 II								○	
	金属加工									○
	機械工学									○
	機械加工概論									○
	電気工学									○
電子回路概論									○	

◎：強く関連 ○：関連

- A：幅広い教養
- B：高い倫理観と安全性に関する知識
- C：自然科学と情報処理の基礎と応用力
- D：専門的な基礎
- E：総合的な課題解決能力
- F：コミュニケーション力
- G：自主的・継続的に学修する能力
- H：専門的な基礎技術
- I：資格取得のための基礎的な技術能力



※教職課程科目については、許可を受けた者だけが履修できる。

- ◎ 必修科目
- 選択必修科目
- 選択科目

建築学科 アーキテクトコース

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**130単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（10科目10単位）を含めて、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】 必修科目（5科目11単位）を含めて、**15単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】 (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
(2) 必修科目（31科目）**61単位**を修得しなければならない。ただし、
・必修科目①の23科目**47単位**を修得しなければならない。
・必修科目②(コース必修科目)の8科目**14単位**を修得しなければならない。
(3) 選択必修科目（コース選択必修科目）のうちから6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
(4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**83単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**8単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養科目	必修	自主創造の基礎 1 (2)			
		自主創造の基礎 2 (2)			
	選択	日本語表現法 (2)	日本国憲法 (2)	哲学 I (2)	
		心理学 I (2)	経済学 I (2)	哲学 II (2)	
	心理学 II (2)	経済学 II (2)			
		日本の文化 (2)			
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーション I (1)	実用英語 III (1)	
		英語読解 I (1)	英語コミュニケーション II (1)		
		英語読解 II (1)	実用英語 I (1)		
		英語表現法 I (1)	実用英語 II (1)		
		英語表現法 II (1)			
	選択	基礎日本語 I (1)	日本語講読 I (1)		技術英語 (1)
基礎日本語 II (1)		日本語講読 II (1)			
体育科目	必修	体育・スポーツ I (1)			
	体育・スポーツ II (1)				
	選択			健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学 I 及び演習 (3)			
		物理学 I (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
		化学 I (2)			
		化学実験及び演習 (2)			
	選択	工科系数学 II (2)	工科系数学 IV (2)		
		工科系数学 III (2)	物理学 III (2)		
		物理学 II (2)			
物理学 IV (2)					
	化学 II (2)				
専門教育科目	専門共通科目			技術者倫理 (2)	卒業研究 (6)
				ゼミナール (2)	
	必修 ①	建築環境・設備概論 (2)	建築設計演習 I (2)	建築施工 I (2)	建築設計 (2)
		建築設計製図 I (2)	建築設計演習 II (2)	建築設備 I (2)	
		建築設計製図 II (2)	建築材料実験 (1)	建築関連法規 (2)	
		建築構法 I (2)	応用力学 I 及び演習 (3)	建築実験 (1)	
		建築計画 I (2)	応用力学 II 及び演習 (3)		
		西洋建築史 (2)	構造力学 I 及び演習 (3)		
		建築情報処理演習 I (1)	構造力学 II 及び演習 (3)		
			建築構法 II (2)		
		建築材料科学 I (2)			
		住宅計画 (2)			
		建築環境工学 I (2)			
	必修 ②		建築造形演習 (2)	都市計画 I (2)	建築企画 (2)
			建築意匠設計 I (1)	日本建築史 (2)	
				建築設計演習 III (2)	
				建築設計演習 IV (2)	
			建築意匠設計 II (1)		
	選択 必修	インテリアデザイン (2)	建築計画 II (2)	建築計画 III (2)	
			建築材料科学 II (2)	鉄筋コンクリート構造 (2)	
		建築情報処理演習 II (2)	鋼構造 (2)		
		建築情報処理演習 III (2)	木質構造設計法 (2)		
			建築環境工学 II (2)		
			建築人間工学 (2)		
			近代建築史 (2)		
			建築計画 IV (2)		
		都市計画 II (2)			
選択			建築基礎構造 (2)	統計学 (2)	
			建築設備 II (2)	インターンシップ (2)	
			構造力学 III 及び演習 (3)	構造力学 IV (2)	
			建築施工 II (2)	建築材料科学 (2)	
			建築測量演習 (2)		
			オープンデスク (2)		
			建築振動学 (2)		
			鋼構造設計法 (2)		
		鉄筋コンクリート構造設計法 (2)			

教育研究上の目的

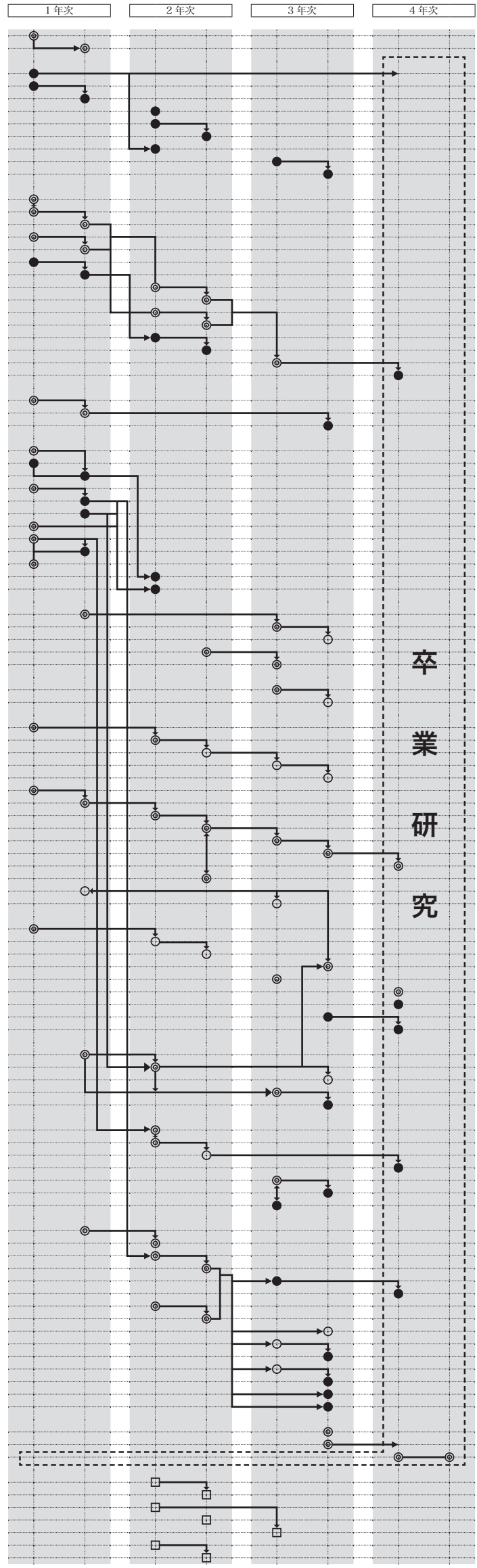
建築学に関する幅広い知識と、専門性の高い技術、さらに創造力豊かな芸術性を修得して、広く地域社会に通用する協調性のある人間性を身に付けるとともに、建築が果たすべき社会的使命としての倫理観や責任感を持った、実践力や指導力のある建築技術者、建築士、デザイナー、研究者、公務員、教員などの人材を養成する。

群(系)	科目名	学修・教育目標								
		A	B	C	D	E	F	G	H	I
初年次	自主創造の基礎 1									
	自主創造の基礎 2									
教養科目	日本語表現法	○								
	心理学 I	○								
	心理学 II	○								
	日本国憲法	○								
	経済学 I	○								
	経済学 II	○								
	日本の文化	○								
	哲学 I	○								
	哲学 II	○								
外国語科目	基礎英語	○								
	英語読解 I	○								
	英語読解 II	○								
	英語表現法 I	○								
	英語表現法 II	○								
	基礎日本語 I	○								
	基礎日本語 II	○								
	英語コミュニケーション I	○								
	英語コミュニケーション II	○								
	実用英語 I	○								
	実用英語 II	○								
	日本語講読 I	○								
	日本語講読 II	○								
	実用英語 III	○								
技術英語	○									
体育科目	体育・スポーツ I	○								
	体育・スポーツ II	○								
	健康・スポーツ概論	○								
自然科学科目	工科系数学 I 及び演習	○								
	工科系数学 II			○						
	工科系数学 III			○						
	物理学 I			○						
	物理学 II			○						
	物理学 IV			○						
	物理学実験及び演習			○						
	化学 I			○						
	化学 II			○						
	化学実験及び演習			○						
	工科系数学 IV			○						
物理学 III			○							
建築歴史・意匠	西洋建築史				○					○
	日本建築史				○					○
	近代建築史	○								○
	建築意匠設計 I				○					○
都市計画・都市設計	都市計画 I				○					○
	都市計画 II				○					○
建築計画・設計	建築計画 I				○					○
	住宅計画				○					○
	建築計画 II				○					○
	建築計画 III				○					○
	建築計画 IV				○					○
	建築設計製図 I				○					○
	建築設計製図 II				○					○
	建築設計演習 I				○					○
	建築設計演習 II				○					○
	建築設計演習 III				○					○
	建築設計演習 IV				○					○
	建築設計				○					○
	建築造形演習	○			○					○
	インテリアデザイン	○			○					○
建築人間工学	○			○					○	
応用及び学際領域	建築情報処理演習 I	○		○						○
	建築情報処理演習 II	○		○						○
	建築情報処理演習 III	○		○						○
	建築実験		○	○						○
	建築関連法規	○								○
	建築企画									○
	統計学	○								○
オープンデスク									○	
インターンシップ									○	
建築環境・設備	建築環境・設備概論				○					○
	建築環境工学 I				○					○
	建築環境工学 II				○					○
	建築設備 I				○					○
建築設備 II				○					○	
建築材料・施工	建築材料実験		○	○						○
	建築材料学 I				○					○
	建築材料学 II				○					○
	建築材料科学				○					○
	建築施工 I				○					○
	建築施工 II				○					○
建築測量演習				○					○	
建築構造	建築構法 I				○					○
	建築構法 II				○					○
	構造力学 I 及び演習				○					○
	構造力学 II 及び演習				○					○
	構造力学 III 及び演習				○					○
	構造力学 IV			○						○
	応用力学 I 及び演習				○					○
	応用力学 II 及び演習				○					○
	木質構造設計法		○							○
	鉄筋コンクリート構造		○							○
	鉄筋コンクリート構造設計法		○							○
鋼構造		○							○	
鋼構造設計法		○							○	
建築基礎構造		○							○	
建築振動学		○							○	
専門共通	技術者倫理	○	○							○
	ゼミナール									○
	卒業研究	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(教科に 教職課程科目 に関する科目)	木材加工 I									○
	木材加工 II									○
	金属加工									○
	機械工学									○
	機械加工概論									○
	電気工学									○
電子回路概論									○	

◎：強く関連 ○：関連

- A：幅広い教養
- B：高い倫理観と安全性に関する知識
- C：自然科学と情報処理の基礎と応用力
- D：専門的な基礎
- E：総合的な課題解決能力
- F：コミュニケーション力
- G：自主的・継続的に学修する能力
- H：専門的な基礎技術
- I：資格取得のための基礎的な技術能力

- 必修科目
- 選択必修科目
- 選択科目



※教職課程科目については、許可を受けた者だけが履修できる。

- ◎ 必修科目
- 選択必修科目
- 選択科目